

食料の安全保障確保においてなにより重要なのは、信頼ある情報を機動的かつ効率的に収集する体制の構築。

とりわけ、先進国において、海外依存度の最も高い我が国においては、関係各国と業界団体レベル、国レベル等あらゆる次元での情報交換体制の構築が必要。

日本植物油協会においては、重要原料を中心に各国と情報供給のための連携体制を構築、定期的協議を毎年開催し、さらに定期協議以外でも機動的に連絡を取り合える体制を構築。

2023年日加菜種子備協議の概要について

農林水産省
油糧輸出入協議会
日本植物油協会

1. 日時及び開催地

日時：令和5年7月11日（カナダ） 8:15～17:15
開催地： ブリティッシュコロンビア州

2. 会議議題

- (1) Supply / Demand Overview for 2023
(2023年における日本の油脂及び油糧種子市場の需給展望)
- (2) Canola Farmer's Perspective on 2023 crop
(2023年産菜種の作柄に関する生産農家の見解)
- (3) Canola Supply and Demand
(カナダ産菜種の需給展望)
- (4) Quality of Imported Canola Jan-Apr of 2023
(2023年1～4月の日本への輸入菜種の品質について)
- (5) Food Security & Environmental Sustainability
(食糧安全保障と環境の持続可能性)
- (6) Update on Canadian production and processing expansion
(カナダの生産と加工の拡大に関する最新情報)
- (7) General Trends Surrounding Vegetable Oils in Japan
(日本の植物油を巡る全般動向について)
- (8) Transportation Update
(カナダの輸送状況の最新情報)



2023年日米パートナーシップ・プログラムの概要

油糧輸出入協議会
日本植物油協会

第27回日米パートナーシップ・プログラムの概要について、次のとおり報告いたします。

1. 日時及び開催地

日 時： 2023年8月23日(水)～25日(金)

開催地： ニューヨーク州ニューヨーク市(会議会場： Hilton hotel 会議室)

2. 会議議題

(1)大豆生育の現況説明

(2)環境インパクトの算出ツールについて

(3)米国大豆の需給、搾油、バイオ燃料政策について

(4)次世代に繋がる強靱持続可能なサプライチェーンのために



日馬パーム油情報交換会について

日本植物油協会事務局

マレーシア政府（パーム庁）とコンタクトを行い、「日馬情報交換会」*のWEB会議開催を以下日程にて開催
日時（日本時間）

2022年3月4日(金) 11時～13時（マレーシア標準時間10時～12時）

2. 開催方法

Web（Teams）を利用、逐次通訳（NHK・G-M）にて実施

3. 議題

- (1) マレーシアのパーム油の2022年の生産と輸出予測（含む2020年、2021年）
 - ・特にインド、中国、EUなどの主要な輸入業者の状況。
 - ・マレーシアの国内需要予測、特にバイオディーゼルの需要増加。
 - ・パーム油とPKOの観点からもオレオ化学産業の需要予測。
- (2) 日本の植物油市場の状況
- (3) マレーシアのパーム油品質の最新の傾向と将来の変化の見通し
- (4) MSPO

日・IOCオリーブ情報交換会の開催について

日本植物油協会事務局

1. 日時及び開催地

日時： 令和4年9月13日(火) (仮)15:00～18:00(日本時間)
(仮) 8:00～11:00(スペイン時間)

開催地： WEB会議

2. 参加

国際オリーブ協会 (The International Olive Council (IOC))

Jaime Lillo, Deputy Executive Director of the IOC

Juan Luis, Head of the Economic and Promotion Unit

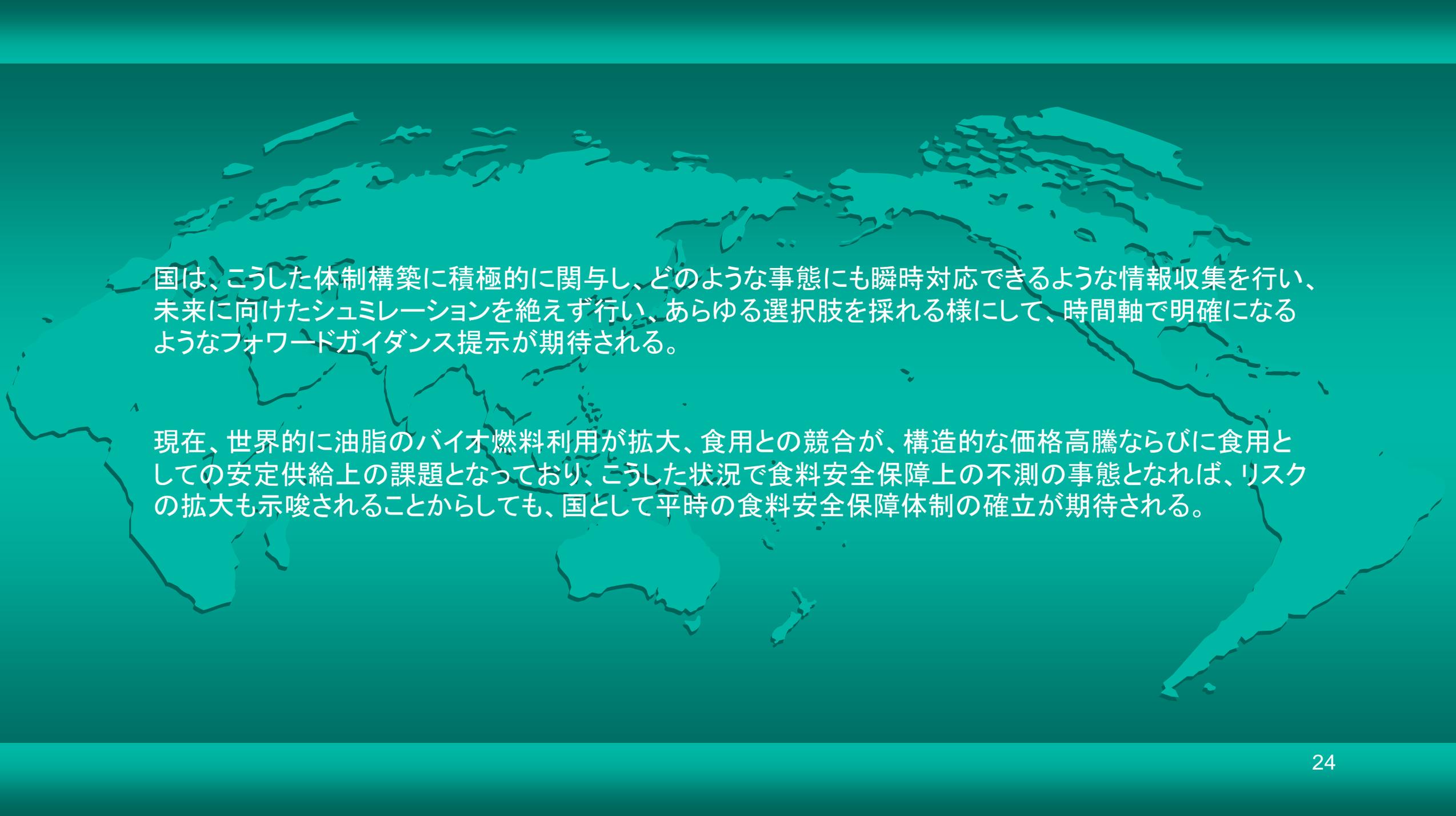
日本植物油協会(国際部会)

油糧輸出入協議会

通訳(NHK・G-Media)

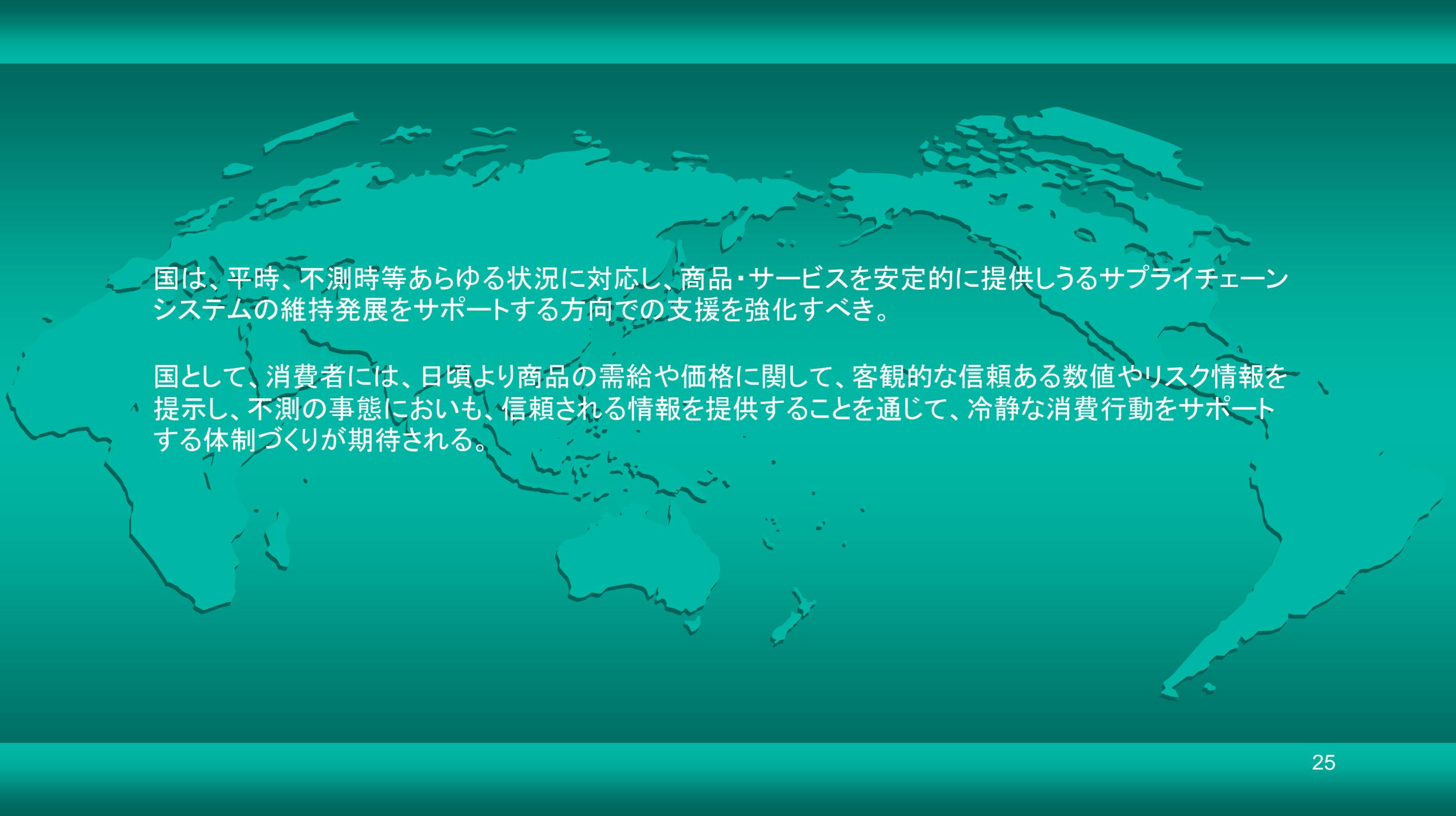
3. 議長

日本植物油協会齊藤専務理事



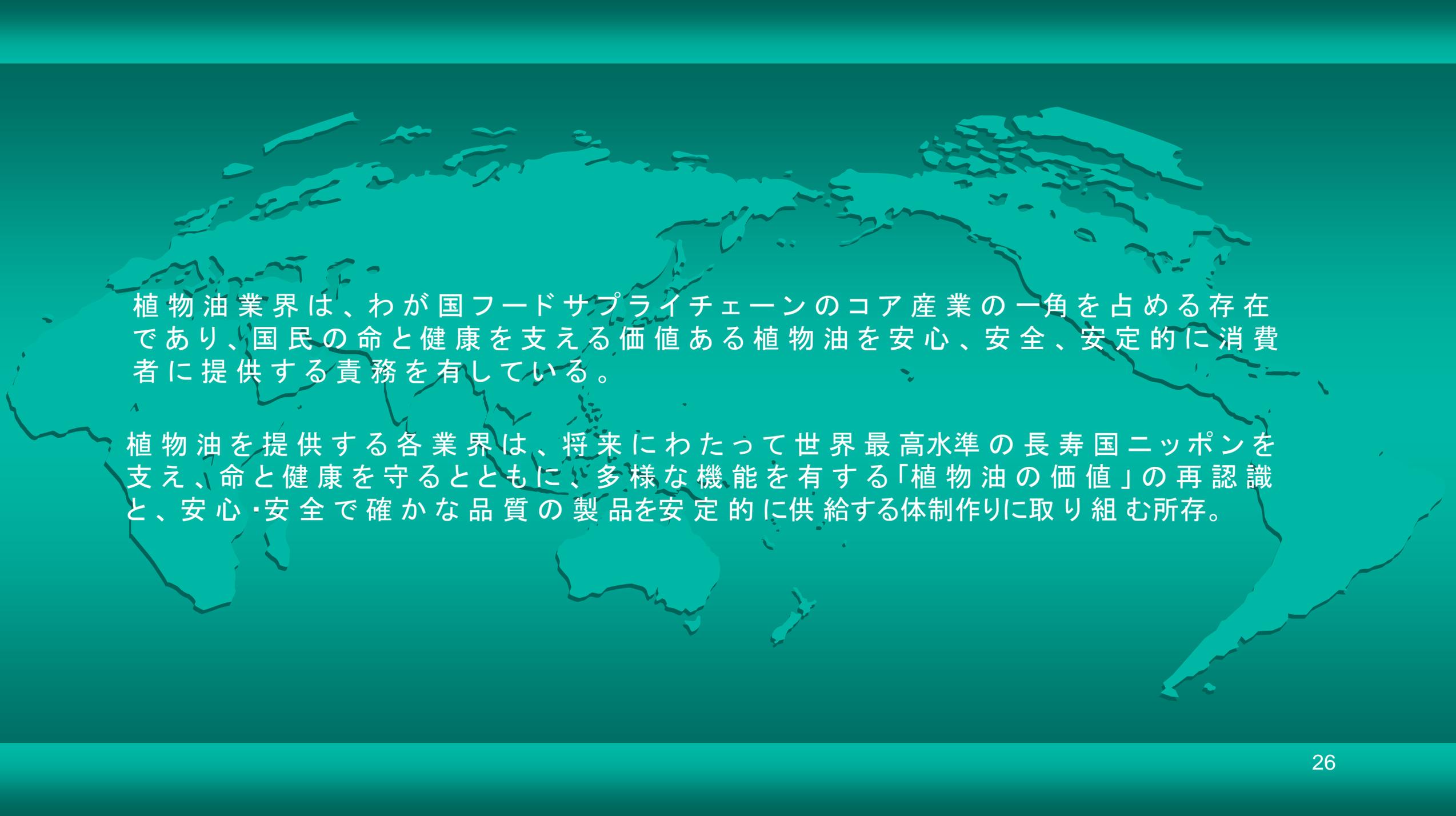
国は、こうした体制構築に積極的に関与し、どのような事態にも瞬時対応できるような情報収集を行い、未来に向けたシュミレーションを絶えず行い、あらゆる選択肢を採れる様にして、時間軸で明確になるようなフォワードガイダンス提示が期待される。

現在、世界的に油脂のバイオ燃料利用が拡大、食用との競合が、構造的な価格高騰ならびに食用としての安定供給上の課題となっており、こうした状況で食料安全保障上の不測の事態となれば、リスクの拡大も示唆されることからしても、国として平時の食料安全保障体制の確立が期待される。



国は、平時、不測時等あらゆる状況に対応し、商品・サービスを安定的に提供しうるサプライチェーンシステムの維持発展をサポートする方向での支援を強化すべき。

国として、消費者には、日頃より商品の需給や価格に関して、客観的な信頼ある数値やリスク情報を提示し、不測の事態においも、信頼される情報を提供することを通じて、冷静な消費行動をサポートする体制づくりが期待される。



植物油業界は、わが国フードサプライチェーンのコア産業の一角を占める存在であり、国民の命と健康を支える価値ある植物油を安心、安全、安定的に消費者に提供する責務を有している。

植物油を提供する各業界は、将来にわたって世界最高水準の長寿国ニッポンを支え、命と健康を守るとともに、多様な機能を有する「植物油の価値」の再認識と、安心・安全で確かな品質の製品を安定的に供給する体制作りに取り組む所存。

ご清聴ありがとうございました。

